

# BULLETIN OF HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT

職業能力開発報文誌 第5巻第2号 1993  
(別冊)

〈座談会〉

「職業能力開発の研究・実践に関する投稿を期待して」

～職業能力開発報文誌通巻10号発行記念～

出席者 小林 辰滋 (雇用促進事業団職業能力開発指導部)  
室田 倬 (関西職業能力開発促進センター)  
大西 孝治 (東京職業能力開発短期大学校)  
印南 義雄 (茨城職業能力開発短期大学校)  
青柳 文隆 (君津職業能力開発促進センター)  
(司会) 城 哲也 (職業能力開発大学校研修研究センター)

〈投稿のしおり〉

## はじめに

社会経済の急激な変化を背景として職業能力開発の一層の充実強化が求められている。職業訓練指導員をはじめとして職業能力開発に携わる者はこうした状況にどのように対応していくのかが問われているといえよう。

平成5年4月に施行された改正職業能力開発促進法において、職業能力開発短期大学校においては在職労働者に対する高度かつ多様な職業能力開発機会の提供、職業能力開発促進センターにおいては労働者、産業のニーズに対応した多様で柔軟な能力開発の推進等が明記され、雇用促進センターにおいては、より一層の相談援助業務の強化が求められている。また、改正された同法施行規則では、職業能力開発短期大学校および職業能力開発促進センターにおいて職業訓練の実施に関する調査研究等を行うことができることとなった。

職業能力開発に携わる者は、多くの実践による実績を積み重ねながら、レベルの向上に努めなければならないと考えられる。そのためには、日頃の業務として行っている職業能力開発に関する研究、研修、実践等の成果を公表し切磋琢磨することにより関係職員の資質の向上が図られることが必要であり、「職業能力開発報文誌」は、その役割の一部を担っていると考えられる。

「職業能力開発報文誌」は、昭和63年度に創刊され平成5年発行をもって通巻10号を迎えることから、この機会に現状の諸問題を討議していただき、各職業能力開発施設等の職員の研究や実践に関する投稿が一層活発になることを期待して座談会を開催し、「職業能力開発報文誌第5巻第2号（通巻10号）別冊」として刊行するものである。

これまでに御尽力を賜った方々に謝意を表するとともに、今後とも職業能力開発施設や雇用促進センターをはじめ雇用促進事業団全職員の方々の御協力により「職業能力開発報文誌」がより一層発展し、かつ職業能力開発事業の振興に寄与することを願うものである。

1993年9月

職業能力開発報文誌編集委員会

## 目 次

### 1. 座談会

「職業能力開発の研究・実践に関する投稿を期待して」

～職業能力開発報文誌通巻10号発行記念～

1	創刊当初の考え方	5
2	なぜ職業能力開発に関する投稿が少ないか	6
3	これまでの発行状況	7
	(1) 投稿と編集発行状況	
	(2) ポリテクカレッジを中心とした現状	
	(3) ポリテクセンターを中心とした現状	
4	カテゴリと校閲査読について	10
5	投稿促進のためのポイント	12
	(1) 職業能力開発分野の投稿促進を図るポイント	
	(2) 投稿するメリットをつける、広報の充実をする必要性	
6	他の雑誌等との関係	14
	(1) 技能と技術誌や学内紀要との関係	
	(2) 学会誌等との関係	
7	今後の編集や発行スタイル等について	15
8	まとめ（今後の課題）	15

### 2. 投稿のしおり

募集要綱（原稿連絡票）

執筆要領

編集要領

編集幹事会・編集委員会設置運営規程